

発刊にあたって



環境のことを勉強し、将来は環境を守る仕事に就きたいと思っている高校生諸君は多いと思います。そのためには、どんな大学のどんな学部、学科に進んだらいいのか？例えば環境学部とか環境学科というような名前の付いたところならば環境のことが学べるのではないかと？確かにそうです。しかし、「環境」という名前の付いていない学部や学科にも、環境のことを研究している研究室はたくさんあります。そして、環境を守る仕事、環境に配慮した仕事についての卒業生もたくさんいます。

本書を読んでもらえればすぐわかるように、環境のことを研究している研究室は、理科系のみならず文科系も含めてあらゆる学部にあたっています。別の言い方をすれば、現代ではどのような学部や学科でも、それぞれの専門の立場から環境のことを考えており、そこでは環境について学ぶことができますともいえます。しかし、その範囲がきわめて広いだけに、具体的にどのような面から環境を学び、研究し、そして将来どのような環境関連の仕事が待っているか、なかなかわからないというのが実情でしょう。

本書は、これから大学・大学院で環境を学び、研究し、そして環境を守る仕事につきたいと考えている君に、日本のどのような大学や研究室で環境の研究を行っているかを紹介しました。そして環境に関連するどのような仕事があるか、その一端を知ってもらうために贈りたいと思います。具体的には本学会に所属する会員の中から100の研究室を選び、そこでどのような研究が行われているか、また卒業生が勤務する研究機関や企業でどのような環境に関連する研究や事業に係わっているかを紹介しました。

本書は環境科学会が発足して25周年を迎える記念出版として刊行しました。本企画にご賛同、ご援助いただいた富士電機株式会社ならびにいであ株式会社に深く感謝します。本書が、環境を目指す高校生諸君の進路決定に役立つことを期待します。

社団法人 環境科学会

会長 岡田 光正

岡田光正：山梨県立甲府第一高等学校、東京大学大学院工学系研究科、国立環境研究所、東京農工大学工学部助教授、広島大学大学院工学研究科教授、同研究科長・工学部長、広島大学理事・副学長を経て、現在放送大学教授、広島大学名誉教授

社団法人 環境科学会の概要について

【目的】

本学会は、人間と環境に関わる学問分野の専門家や研究者などの相互交流を図り、その有機的連携のもとに環境科学に関する諸問題を学際的かつ総合的に調査研究し、環境科学の学術文化の発展に寄与するとともに、これらの成果の普及・啓発に努め世界の環境保全や創造に貢献することを目的としています。

【設立と経緯】

人間活動と自然環境の調和を維持し、豊かな環境を創造する新たな方策を探求するためには、自然科学、社会科学、人文科学の広い分野の研究者の密接な連携が必要であり、また息の長い学術的な研究が求められます。

環境問題が現象の複合化、広域化、多様化などのために、より一層総合的かつ長期的な取り組みを必要としつつある現在、学際的な研究体制を永続的に維持すると同時に、環境科学に関心を有する多くの人々の英知を結集することが重要だと考えます。

本学会は、環境科学全体の発展のために1987年11月任意団体として発足し、その後、1993年6月に社団法人として認可され、現在に至っています。発足後わずか6年で社団法人化に至った背景には、地球環境問題をはじめ、人間社会と環境との関わりについて社会的な関心が高まっていることが挙げられます。今後、人類生存の持続性と安全・快適性の向上に向けて、本学会の果たす役割がますます期待されていると言えます。2013年には公益社団法人として認定を得るための準備を進めています。

【事業の内容】

本学会は、次のような事業を行っています。

(1) 表彰・若手育成事業

- ・ 環境科学の研究において顕著な業績をあげた研究者に学会賞・学術賞・奨励賞・論文賞を贈呈しています。
- ・ 若手研究者による創意ある研究企画の提案推進、及び毎年年会（研究大会）に於いて優秀な研究発表を行った若手研究者と学生に、最優秀発表賞ならびに優秀発表賞を授与し、表彰しています。（次の3つの部門に分かれています）

- ①ポスドクおよび博士課程学生部門
- ②修士課程(博士課程前期を含む)学生部門
- ③学部学生、高専生、高校生部門



(2) 年会、シンポジウム及び講習会等の開催

- ・ 1988年以来、毎年1回年次研究発表会を各地で実施しています。
- ・ また、年会の際にテーマ・企画を公募し、シンポジウムを開催しています。



(3) 学会誌および学術図書の刊行

- ・ 1988年6月に創刊号を発行後、次年度から季刊誌に移行、2001年度より年6回発行しています。
- ・ 本学会の会誌は環境科学関連の総合論文、一般論文、短報、研究資料、論説、総説、解説等の記事からなります。2001年からは、座談会やインタビューなど、学会の顔が見える企画記事も掲載しています。また、この分野で話題となっている新刊の書評や学界の最新動向なども併せて掲載しています。



(4) その他の活動

- ・ 環境の保全・創造に関する調査および研究、内外の関連学協会との交流や協力、会員相互の情報および研究の交流を積極的に行っています。

目 次

発刊にあたって	3
社団法人 環境科学会の概要について	8

◆大学研究室

【北海道】

北海道大学／廃棄物処分工学研究室	12
北海道大学／大気環境保全工学研究室	14

【東 北】

石巻専修大学／水質環境工学研究室	16
石巻専修大学／生態工学研究室	18
東北大学／環境・エネルギー経済研究室	20
秋田県立大学／環境システム研究室	22

【関 東】

茨城大学／生命系経済学研究室	24
筑波大学／社会環境システム研究室	26
芝浦工業大学／エネルギー・資源循環研究室	28
芝浦工業大学／地域環境経営研究室	30
東洋大学／循環評価システム研究室	32
東邦大学／環境計画研究室	34
麗澤大学／環境経済研究室	36
桜美林大学／環境化学研究室	38
桜美林大学／藤倉まなみゼミ	40
大妻女子大学／木村研究室	42
お茶の水女子大学／環境工学研究室	44
国際連合大学／地球変動とサステナビリティ・セクション	46
上智大学／日引研究室	48
創価大学	50
創価大学／環境法研究室	52
電気通信大学／山本佳世子研究室	54
東京工業大学／地球環境研究室	56
東京大学／環境システム研究室	58
東京大学／水環境制御研究室	60

東京大学 生産技術研究所／迫田研究室	62
東京大学／平尾研究室	64
東京大学／都市資源管理研究室	66
東京大学／環境システム学専攻	68
東京大学／循環型社会創成学分野 亀山・田崎・松橋研究室	70
東京農業大学／治山・緑化学研究室	72
東京農工大学／環境バイオエンジニアリング研究室	74
東京農工大学／環境微生物学研究室	76
東洋大学／環境マネジメント研究室	78
法政大学	80
法政大学／低炭素都市・温暖化適応研究室	82
明治大学／環境法研究室	84
早稲田大学／環境生命科学研究室	86
早稲田大学／環境経済研究室	88
神奈川大学／環境社会論ゼミナール	90
神奈川大学／環境分析化学研究室	92
東京工業大学／環境政策・計画研究室	94
横浜国立大学／環境安全工学研究室	96
横浜国立大学／環境安全管理研究室	98
横浜国立大学／環境安全科学研究室	100
横浜国立大学／MNM研究室	102
横浜国立大学／洗剤・洗浄科学・環境情報学研究室	104

【中 部】

富山県立大学／水圏リスク工学研究室	106
富山県立大学／社会環境システム研究室	108
富山県立大学／エネルギー社会工学研究室	110
富山県立大学／資源循環工学・環境政策学講座	112
富山県立大学／循環マテリアル学研究室	114
山梨大学／国際流域環境研究センター	116
静岡県立大学／水質・土壌環境研究室	118
静岡県立大学／大気環境研究室	120
静岡県立大学／生体機能学研究室	122

静岡県立大学／物性化学研究室	124
静岡県立大学／植物環境研究室	126
東海大学／海洋環境政策研究室	128
愛知学院大学／環境評価・支援システム研究室	130
中部大学／国際GISセンター	132
豊橋技術科学大学／持続社会工学研究室	134
豊橋技術科学大学／水環境工学研究室	136
豊橋技術科学大学／都市・地域システム研究室	138
豊橋技術科学大学／都市・地域計画研究室	140
豊橋技術科学大学／資源循環工学研究室大門研究室	142
豊橋技術科学大学／環境共生型都市研究室	144
名古屋大学／都市環境学専攻 都市持続発展論講座 林・加藤研究室	146
名古屋大学／片山新太研究室	148
名古屋大学／環境社会システム工学研究室	150
名古屋大学／エコトピア科学研究所	152

【近 畿】

立命館大学／環境システム研究室	154
京都大学／大気・熱環境工学分野	156
大阪大学／共生環境評価領域	158
大阪大学／生物圏環境工学領域	160
大阪大学／環境マネジメント学領域	162
関西学院大学／松村研究室	164
神戸大学	166
神戸大学／都市環境システム研究室	168
和歌山大学／産業エコロジー研究室	170
和歌山大学／環境マネジメント研究室	172

【中 国】

広島大学／グリーンプロセス工学研究室・環境安全センター	174
広島大学／建築環境学研究室	176
広島大学／開発と環境研究室	178
福山市立大学	180
山口大学／環境科学研究室	182

【四 国】

高知工科大学／中根研究室(地球環境工学研究室)	184
-------------------------------	-----

【九 州】

北九州市立大学／環境マネジメント研究分野	186
北九州市立大学／環境評価・リスク管理研究室	188
北九州市立大学／材料物性分析研究室	190
北九州市立大学／環境マネジメント研究室	192
北九州市立大学／環境化学研究室	194
九州大学／近藤加代子研究室	196
長崎大学	198
長崎大学／環境政策	200
熊本県立大学／資源循環化学研究室	202
崇城大学／上野研究室(環境システム工学研究室)	204
鹿児島大学／環境化学研究室	206
鹿児島大学／環境化学研究室	208
鹿児島大学／環境反応工学研究室	210
鹿児島大学／森林計画学研究室	212

◆公的研究機関

独立行政法人 農業環境技術研究所	216
埼玉県環境科学国際センター	220
独立行政法人 国立環境研究所	222
国立環境研究所(総合評価モデリング研究室)	226
独立行政法人 産業技術総合研究所(リスク評価戦略グループ)	228

◆協賛・後援企業

富士電機株式会社	232
いであ株式会社	236

索引	240
あとがき	244